



南条っ子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和4年7月8日発

第19号



○ 読み聞かせ（4・5・6年生）

7月7日（木）、図書ボランティア（ブックマ）の方による読み聞かせがありました。今回は、4・5・6年生の6クラスで行われました。子どもたちは、みんな集中して楽しそうに話を聴いていました。



4年1組



「ぼうやに命をくれた人は誰?」「それは…お父さんとお母さん?」「そうだねえ。命をくれた人をご先祖さまと言うんだよ」「ねえ、おばあさん、ぼくのご先祖さまって何人いるの?」コウちゃんは、指をおって数えてみることにしました。すると…。



4年2組



彼の名前はケチャップマン。押せば中身が出るしくみ。ポテトフライの専門店です。ポテトを揚げる日々。自分にしかできない何かを求め、毎日悩むケチャップマン。ある日とつぜんトメイト博士があらわれて…。



5年1組



うちの家族には、みんなそれぞれ好きなことがある。好きなことがあるっていいな。何か見付かるかな? いろいろやってみてピンときたのは…数学! 世界をみる方法は、いくつもある…数学が大好きな主人公の、「好き」の気持ちがあふれるお話。



5年2組



「ぼくは、いつでもおこられる。家でも学校でも…休み時間に、友だちが仲間外れにするからなぐったら、先生にしかられた。」いつも誤解されて損ばかりしている少年が、七夕さまの短冊に、小学校に入学してから教えてもらったひらがなで、ひとつずつ心を込めて書いた願いごとは…?



6年1組



3匹のかわいいオオカミは広い世界に出ていくことになりました。「でも、悪い大ブタには気を付けるのよ。」オオカミたちはれんがで家を作ったのに、とんでもない悪い大きなブタはそれを壊して…。『3匹の子ぶた』はブタがオオカミに襲われますが、この作品は、オオカミがブタに襲われます。



6年2組



教室はまちがうところだ みんなどしどし手をあげてまちがった意見を言おうじゃないか まちがった答えを言おうじゃないか。はじめからうまいこと言えるはずないんだ。はじめから答えがあたるはずないんだ。まちがうことなんか、こわくない! そんな教室を作ろうや。



○ 水難事故防止

毎年、夏になると全国各地で水の事故が起きていますが、もしも衣服を着たまま水に落ちた時、着衣泳を知っていると助かる場合があります。着衣泳の一番のポイントは、「あわてず、浮いて、待つ」ということだそうです。泳ぎが得意な人でも衣服が邪魔をしてなかなか思うように泳げなくなり、体力を消耗してしまいます。その代わりに、衣服は水を吸っても浮きやすく、体温低下にも役立ちます。そこで、「浮いて待つ」ために、上向きに寝た姿勢で呼吸を確保しながら浮く「ラッコ浮き(背浮き)」と、そこからゆっくり移動する「エレメンタリー・バック・ストローク(ちょうちょ泳ぎ・イカ泳ぎ)」が最も適しているそうです。また、水に落ちた人を見つけたら、声をかけ、浮きそうな物を近くに投げ入れ、救助を呼ぶ(大声で叫ぶ、119番に電話する)」ことが大切です。

「着衣泳」のポイント

水に落ちたら、慌てず浮いて救助を待つ



ペットボトルなど浮くものがある場合



一番大事なことは、危険な目にあわないことです。水難事故にはくれぐれも気を付けましょう。



- ① 背浮きの姿勢をとります
- ② ヒジとヒザをゆっくり曲げます
- ③ 手首・足首に力を入れ、水を押し準備をします
- ④ 手足の動きでしっかり水を押しします
- ⑤ 手足を伸ばして、背浮きの姿勢に戻ります

独立行政法人日本スポーツ振興センターHP 学校における水難事故防止必携